

令和5年度第3回岩国医療圏地域医療構想調整会議 議事概要
(令和5年度第2回岩国地域保健医療対策協議会)

【日 時】 令和6年2月8日(木) 15:30~16:30

【場 所】 山口県岩国総合庁舎 1階入札会議室

【出席者】 出席者名簿のとおり

【議事内容】

- 第8次山口県保健医療計画の最終案について説明を行った。
- 紹介受診重点医療機関の選定について協議し、2つの医療機関を継続して選定した。
- 岩国市から、錦中央病院及び美和病院の公立病院経営強化プランについて説明があり、地域医療構想との整合性について確認した。
- 岩国医療センターから、地域医療構想の達成に向けた対応方針の変更について説明があり、合意した。
- 岩国病院から、地域医療構想の達成に向けた対応方針の変更及び医療機能分化連携推進事業に係る回復期病床への転換のための設備整備計画について説明があり、合意した。

1 第8次山口県保健医療計画最終案について

県医療政策課から、第8次山口県保健医療計画の最終案について説明を行った。

(主な意見・質問等)

- 慢性閉塞性肺疾患(COPD)対策は、現実的には禁煙しかなく非常に難しいと思う。計画に掲げる施策について、この他に具体的に記載できるものはないか。
⇒ これまでの議論を踏まえ、予防や早期発見が重要との考えの下、大きな方向性は計画に盛り込んでいる。具体的な対策については、医療現場の意見を踏まえて取り組んでいきたい。
- 新興感染症医療について、山口県感染症予防計画との整合性はいかがか。
⇒ 感染拡大状況に応じた医療提供体制など、予防計画のエッセンスを取り入れつつ、確保病床数等の数値目標についても整合性を図って取り組んでいく。

2 紹介受診重点医療機関の選定について

紹介受診重点医療機関の選定について協議を行った。

その結果、岩国市医療センター医師会病院及び岩国医療センターを継続して選定した。

(主な意見・質問等)

特に意見、質問等はなし。

3 公立病院経営強化プランについて

岩国市から、錦中央病院及び美和病院の公立病院経営強化プランについて説明を行った。

プランでは、2病院が一体となって、病院の少ない玖北地域全体の医療提供体制を維持していくことや、地域の診療所や介護施設との連携強化を図ることなどが示された。

また、美和病院では新病院の開業に伴い、急性期病床の一部を圏域で不足する回復期病床へ転換し、人材確保を進めつつ地域包括ケア病床の導入を目指すなど、患者の在宅復帰をより強固に支援していくことなどが示された。

協議の結果、病院の果たすべき役割・機能などについて、地域医療構想との整合性を確認した。

(主な意見・質問等)

- 錦中央病院は美和病院のように機能転換を行わず、現状の病床機能を維持するのか。
⇒ 錦中央病院は一病棟であり、病床機能は現状維持としたい。

4 対応方針（2025プラン）の変更について

岩国医療センターから、病床の稼働状況を踏まえ、高度急性期病床を2床削減することについて説明を行った。

岩国病院から、急性期病床の一部を圏域で不足する回復期病床へ転換するとともに、プランの変更に伴う医療機能分化連携推進事業に係る設備整備計画について説明を行った。

協議の結果、これらの対応方針の変更及び整備計画について合意した。

(主な意見・質問等)

特に意見、質問等はなし。

5 医療機器の共同利用計画の提出について

岩国健康福祉センターから、2医療機関が提出した「医療機器の共同利用計画」について説明を行った。

6 令和6年度調整会議スケジュールについて

県医療政策課から、令和6年度調整会議の開催スケジュールについて説明を行った。

(主な意見・質問等)

- 依然として当圏域の回復期病床が不足している状況に変わりはないが、2025年以降の地域医療構想の取組について、どのように考えるか。
⇒ 美和病院等の機能転換により、当圏域においても必要病床数との差異は小さくなっており、取組は着実に進んでいると考える。また、国において、高齢者人口がピークを迎えて減少に転ずる2040年頃を視野に入れて、医療・介護との連携も含めたバージョンアップを行う方針であり、具体的な内容が示されれば、調整会議で報告したい。